



POLICE Information

災害への備えは大丈夫ですか？～大雨対策～

これから梅雨を迎えます。被害に遭わないためにも、わたしたち一人一人が防災に対する正しい知識を身につけることが大切です。災害に対する万全の備えをして、自分の身は自分で守ることを心掛けておきましょう。

■大雨時における災害と対策

①土砂災害（土石流・崖崩れ・地滑り）

【土砂災害の前触れ現象】

- ・山鳴りがする
- ・大雨が降り続くのに河川の水位が減る
- ・川が濁ったり流木がまざる
- ・地面にひび割れなどができる
- ・小石が落ちてくる
- ・崖から音がする
- ・地面にひび割れができる
- ・崖や斜面から水が噴き出す

この他にもさまざまな現象がありますので、状況に応じて行動し、安易な判断をしないようにしてください。

※一番重要なことは、周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保することです。

【防災対策（危険を感じたらまず避難を）】

前触れ現象を察知した場合、

土砂災害が起こる可能性があります。すぐに周りの人と一緒に安全な場所へ避難することを考えましょう。

また、明るい時間帯のうちに、避難所など安全な場所へ早めの予防的避難を行いましょ。

②急激な増水による災害（河川の氾濫）

川幅の狭い河川では、河原などで急激に増水する可能性があります。

また、下流域が小雨などでも

上流域で大雨が降っている場合には、下流域で急激に増水する可能性があり、十分な注意が必要です。

■災害に対する日ごろの備え

～あなたは大丈夫？家庭での防災会議を

- (1)災害発生時の連絡方法（NTT災害伝言ダイヤルの使用方法等）を家族で話し合っておきましょう。
- (2)家族一人一人の役割分担を確認しておきましょう。特に、子どもや高齢者の保護などを最優先に決めておきましょう。
- (3)救急医薬品の確認や火気などの点検方法、避難場所、避難経路などを日ごろから話し合っておきましょう。

なんでも

南部分署

梅雨時期の防災対策について

梅雨時期は長期間の雨により水害土砂災害が発生しやすくなります。

日頃から防災対策を心がけましょう。

【ポイント】

■気象情報に注意を

台風の接近や、洪水の恐れがあるときはもちろん、日ごろからテレビやラジオの気象情報に注意しましょう。

■避難場所と経路の確認を！

■「非常持ち出し袋」の用意を！

- ・食べ物や水も3日分程度準備しておくこと安心です。
- ・水（白いポリタンクに入れておくこと長持ちします）
- ・食品（缶詰・缶入りのクッキー・カップ麺など）
- ・懐中電灯・ラジオと予備の乾電池
- ・薬箱
- ・ろうそく・マッチ
- ・着替え・携帯電話・貴重品
- ・携帯用トイレ（あると便利）

■台風や大雨が降ったら危険な場所に近づかない！

水害は、大丈夫だと思っても、急激に迫ってくる可能性があります。異変を感じたらすぐに対応するよう心がけ、山崩れや土石流（鉄砲水）には次のような前ぶれを見逃さないことが大切です。

- ・小石がパラパラ落ちる
 - ・地面にひび割れができる
 - ・山鳴りや妙な音がする
 - ・がけに裂け目ができる
 - ・陥没や隆起が起きる
 - ・川の水が急に濁る
 - ・わき水が止まる
 - ・山の木が傾いている
 - ・傾斜面の水が走り出す
- これらの異変が生じたときは、早めに避難し、消防署などへ通報してください。

